

BE KOBE

令和3年度決算の概要

【簡略版】



神戸市

目 次

1. 全会計決算の状況	1
2. 一般会計決算の状況	1
(1) 歳入決算の概要	2
(2) 歳出決算の概要	3
参考1：市債残高の推移	4
参考2：市民1人あたりの市債残高比較	4
参考3：義務的経費の推移	5
参考4：社会保障経費の推移見通し	5
3. 財政健全化指標の状況	6
4. 市民1人あたりの行政コスト	7

情報BOX 1

宝くじ

神戸市内で販売された宝くじの売上げの一部は、収益金として神戸市の収入になり、道路や公園整備のほか、子育て支援やルミナリエなど、さまざまな事業に役立てられています。

宝くじはインターネットでも購入することができ、抽せん結果の確認から当せん金のお受け取りまで全てインターネット上で完結させることができます。

宝くじは、
神戸市内で
買ってね！



今すぐ
検索！



1. 全会計決算の状況

(単位：億円・%)

	令和3年度	令和2年度	増△減	増減率
一般会計	9,235	9,967	△ 732	△ 7.3
特別会計	6,487	6,560	△ 73	△ 1.1
企業会計	3,067	3,109	△ 42	△ 1.4

・一般会計

福祉、教育、道路・公園の整備など、市の基本的な事業を行う会計です。
主に、市税や地方交付税などによってまかなわれます。

・特別会計

特定の収入で特定の事業を行う会計です。
国民健康保険や介護保険、市営住宅など、神戸市では11会計あります。

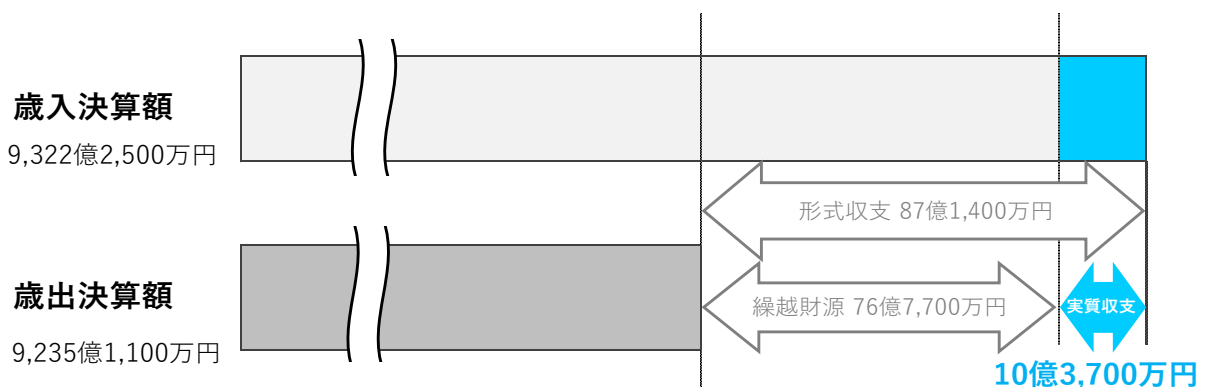
・企業会計

主に利用者のみなさんが支払う料金収入等で事業を行う会計です。
バスや地下鉄、上下水道など、神戸市では7会計あります。

2. 一般会計決算の状況

実質収支 10億3,700万円（黒字） （令和2年度 3億円）

社会保障関係経費や公債費等の義務的経費が増加した一方で、コロナ禍からの景気回復による法人市民税の増や消費回復による地方消費税交付金の増、さらには「行財政改革方針2025」に基づく取組みを着実に進めたことなどから、財源対策によることなく、**実質収支の黒字を確保**しました。



※実質収支額10億3,700万円については、決算認定後、決算剰余金として財政調整基金に積立て、今後の市政運営に活用する予定です

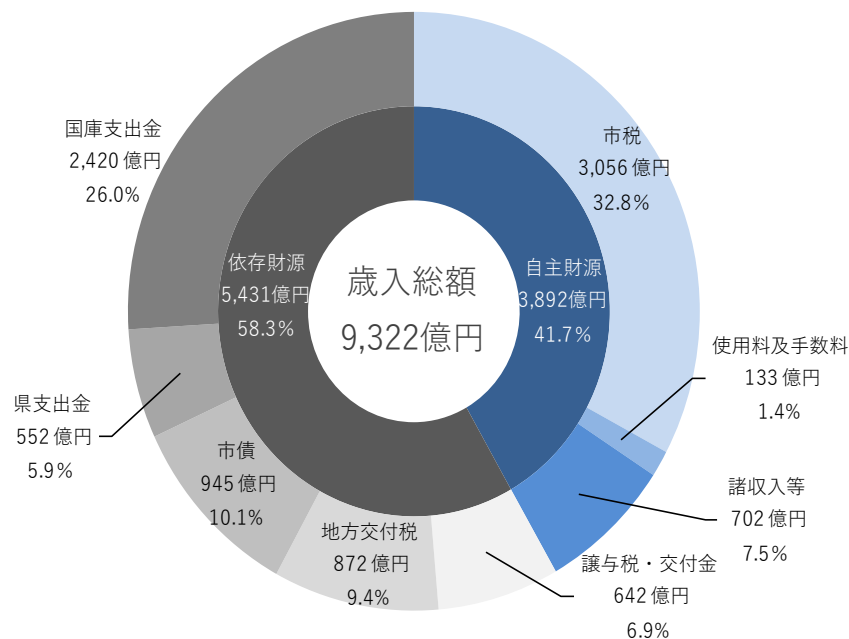
(1) 歳入決算の概要

・対前年度比較

(単位：億円・%)

区 分	令和3年度		令和2年度		増△減	
	金額	構成比	金額	構成比		伸率
自主財源	3,892	41.7%	3,838	38.0%	+54	+1.4
市 税	3,056	32.8%	3,055	30.2%	+1	-
使 用 料 手 数 料	133	1.4%	129	1.3%	+4	+3.1
諸 収 入 等	702	7.5%	654	6.5%	+48	+7.3
分 担 金 及 負 担 金	5	0.1%	11	0.1%	△6	△54.5
財 産 収 入	113	1.2%	72	0.7%	+41	+56.9
寄 附 金	20	0.2%	13	0.1%	+7	+53.8
繰 入 金	83	0.9%	118	1.2%	△35	△29.7
繰 越 金	130	1.4%	90	0.9%	+40	+44.4
諸 収 入	351	3.8%	350	3.5%	+1	+0.3
依存財源	5,431	58.3%	6,259	62.0%	△828	△13.2
譲 与 税 ・ 交 付 金	642	6.9%	535	5.3%	+107	+20.0
地 方 交 付 税	872	9.4%	723	7.2%	+149	+20.6
市 債	945	10.1%	1,061	10.5%	△116	△10.9
県 支 出 金	552	5.9%	500	4.9%	+52	+10.4
国 庫 支 出 金	2,420	26.0%	3,441	34.1%	△1,021	△29.7
合 計	9,322	100.0%	10,097	100.0%	△775	△7.7

・構成比



※自主財源・依存財源

財源の調達が自主的に行えるかどうかによる分類です

自主財源の比率が高いほど、より自主的・自律的な財政運営が可能となります

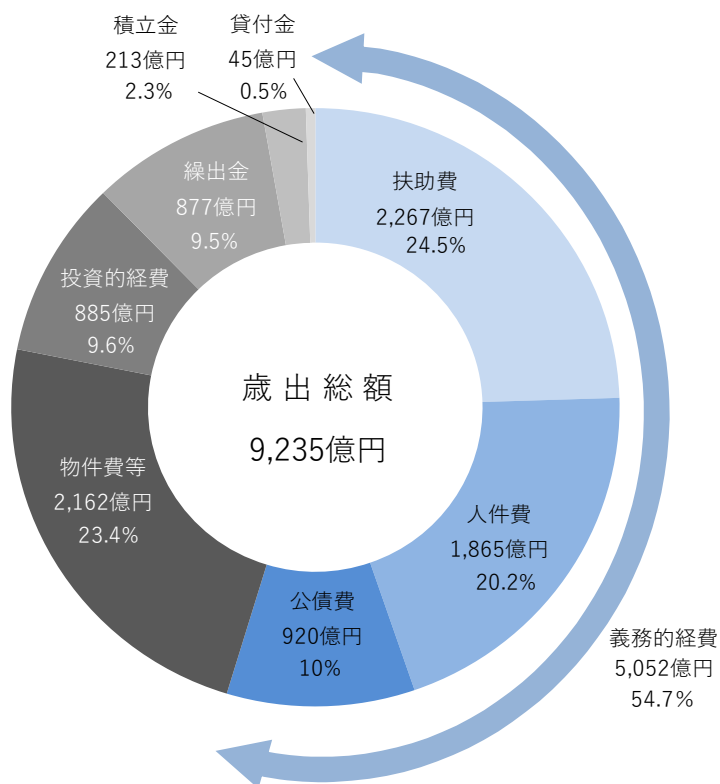
(2) 歳出決算の概要

・対前年度比較

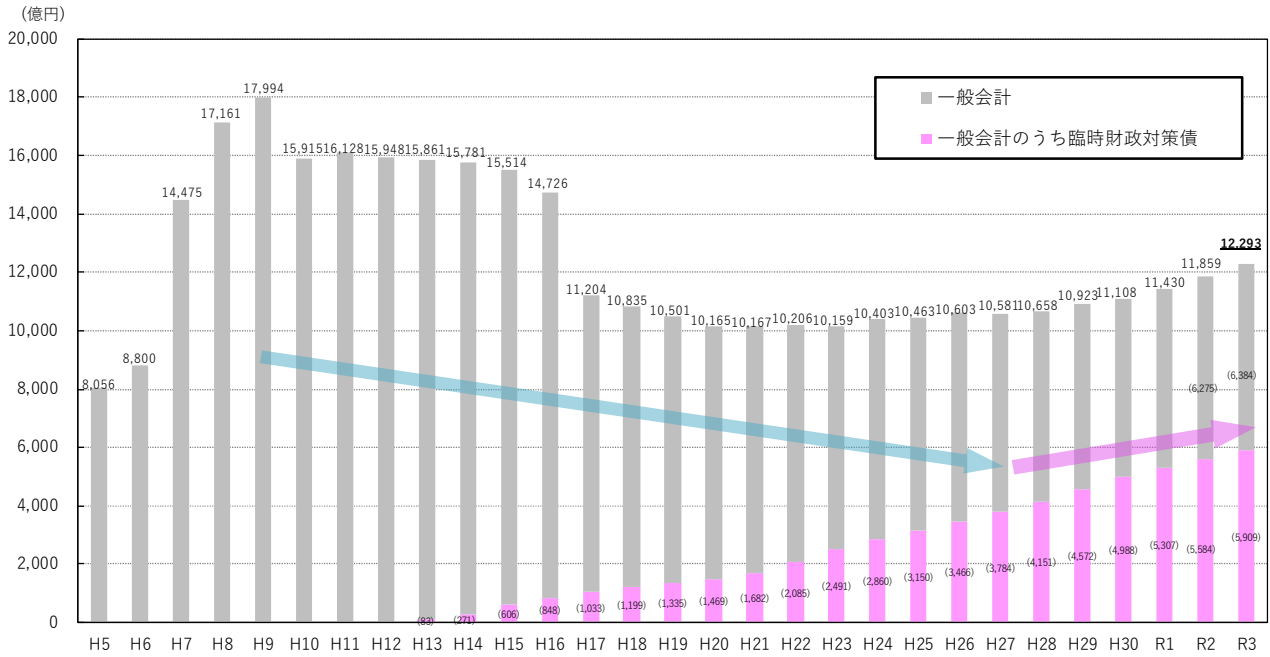
(単位：億円・%)

区 分	令 和 3 年 度		令 和 2 年 度		増△減	
		構成比		構成比		伸 率
義 務 的 経 費	5,052	54.7	4,983	50.0	+69	+1.4
人 件 費	1,865	20.2	1,871	18.8	△6	△0.3
扶 助 費	2,267	24.5	2,214	22.2	+53	+2.4
公 債 費	920	10.0	899	9.0	+21	+2.3
投 資 的 経 費	885	9.6	951	9.5	△66	△6.8
繰 出 金	877	9.5	895	9.0	△18	△2.0
貸 付 金	45	0.5	43	0.4	+2	+5.3
積 立 金	213	2.3	71	0.7	+142	+199.1
物 件 費 等	2,162	23.4	3,024	30.4	△862	△28.5
合 計	9,235	100.0	9,967	100.0	△732	△7.3

・構成比

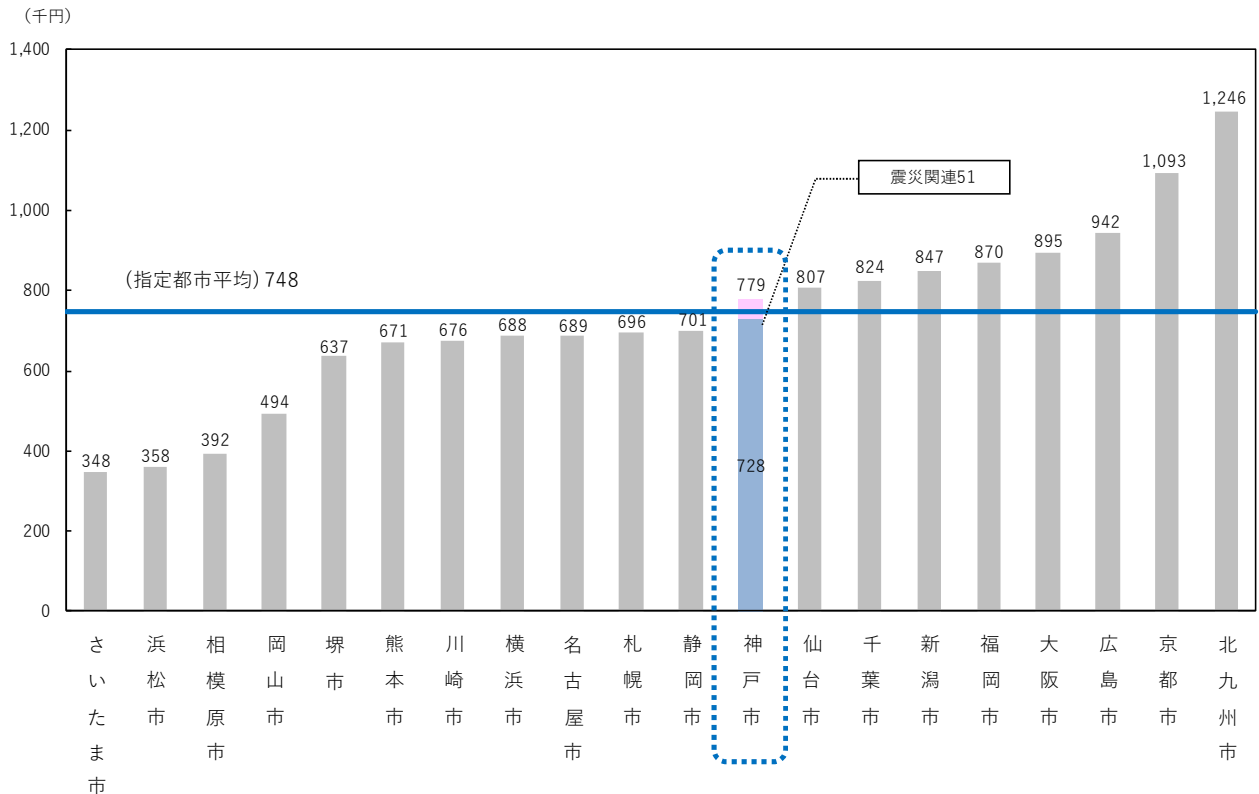


(参考1) 市債残高（一般会計）の推移



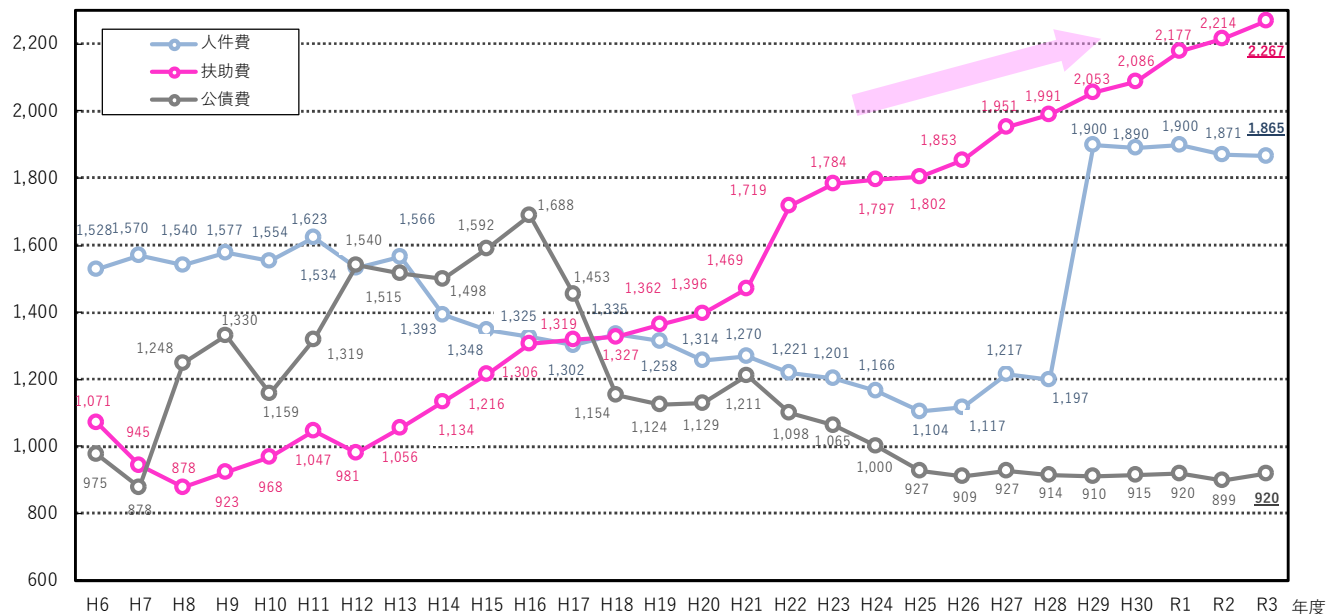
※臨時財政対策債とは地方交付税の代わりに国が配分する赤字地方債です
元利償還金全額に対して地方交付税措置があります

(参考2) 市債残高（市民1人あたり）の他都市比較（令和2年度一般会計決算）



(参考3) 義務的経費（人件費・扶助費・公債費）の推移

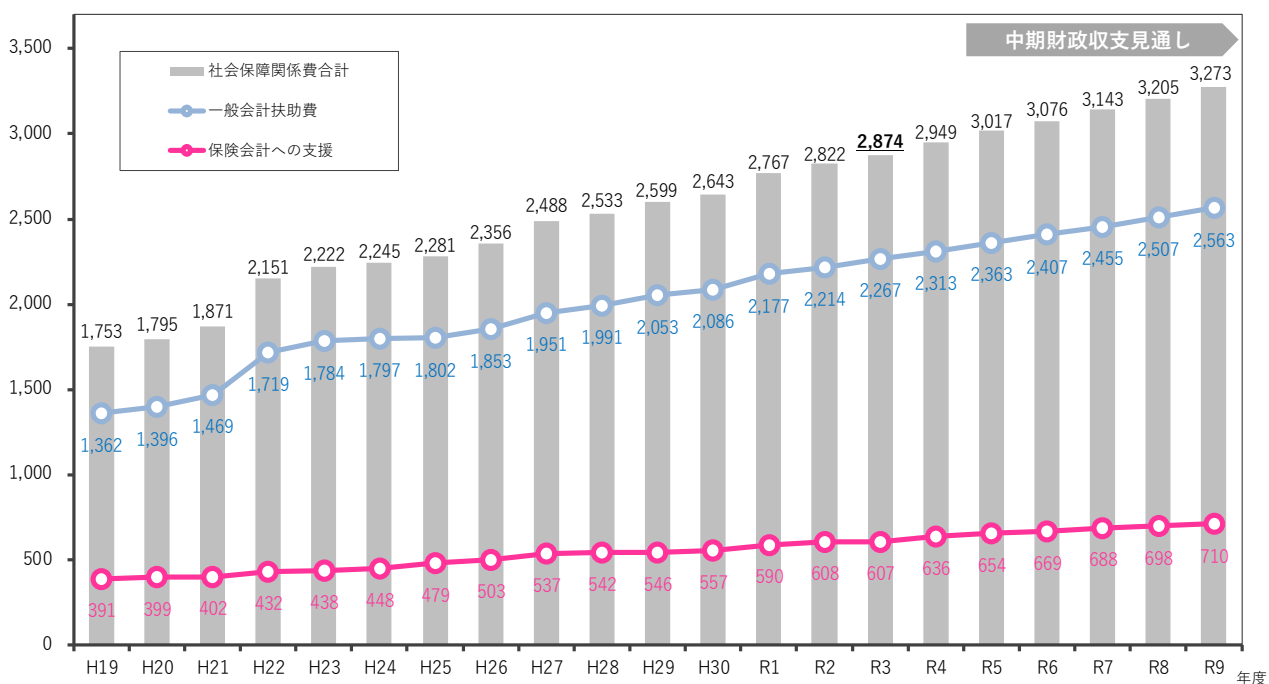
(億円)



※ H17年度の公債費は阪神・淡路大震災復興基金への出捐・貸付金にかかる市債償還額（約3,000億円）を除く数値です
 ※ 人件費はH27年度より臨時的任用職員および嘱託職員を、R2年度より会計年度任用職員を含みます
 また、H29年度より県費負担教職員制度の権限移譲に伴い大幅に増加しています

(参考4) 社会保障経費（扶助費・保険会計への支援）の推移見通し

(億円)



4. 市民1人あたりの行政コスト

一般会計の決算を市民1人あたりで計算すると、約61万円の市民サービスを行っています。

項目	主な事業	金額
子ども・高齢者等の福祉の充実に	子育て世帯経済的負担の軽減 高齢者・障害者施策の推進	約25.2万円
教育・文化の振興に	学びの環境整備 芸術・文化・スポーツの振興	約9.3万円
環境・衛生の向上に	検査・医療提供体制の確保 健康創造都市KOBÉの推進	約6.1万円
住宅・まちづくりに	駅周辺のリノベーション 空家空地対策の推進	約2万円
道路・公園に	経済の基盤となるインフラ整備 安心・安全で魅力ある公園施設の更新	約3.5万円
産業の振興に	市内産業の活性化と雇用環境の充実 六甲山・摩耶山の活性化	約1万円
消防・救急に	消防力の強化 災害に強い都市づくり	約1.4万円
区役所などの運営に	区役所庁舎の整備 ICT等を活用した市民サービス向上	約6.5万円
市債の返済に	(参考) 市民1人あたりの残高：約77万9,000円 ※政令市中位の水準	約6.1万円

情報BOX 2

ふるさと納税 ～みなさまからの温かい気持ちをカタチにします～

●ふるさと納税とはどういう制度なの？

「納税」という言葉がついているふるさと納税ですが、実際には自治体への寄附にあたります。自分の選んだ自治体に寄附（ふるさと納税）を行った場合に寄附額のうち2,000円を越える部分について、所得税と市県民税から原則として全額が控除される制度です。（税額控除については、上限があります）

●ふるさと納税は何に使われているの？

みなさまからのふるさと納税は、神戸市のさまざまな事業に活用されています。ふるさと納税の使い道としてお選びいただける事業には、新型コロナ対策の最前線で働く医療従事者への支援や神戸歴史遺産を次世代に継承するための事業支援などがあります。

詳しくは、神戸市ふるさと納税公式サイトをご覧ください。





United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

City of Design
KOBE 

Member of the UNESCO
Creative Cities Network
since 2008